

ウィキペディア

延喜式神名帳

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』



この記事は検証可能な参考文献や出典が全く示されていないか、不十分です。

出典を追加して記事の信頼性向上にご協力ください。（2017年8月）

延喜式神名帳（えんぎしき　じんみょうちょう）は、延長5年（927年）にまとめられた『延喜式』の巻九・十のことで、当時「官社」に指定されていた全国の神社一覧である。

目次

概要

式内社の社格

論社

関連資料

関連項目

外部リンク

概要

延喜式神名帳に記載された神社、および現代におけるその論社を「延喜式の内に記載された神社」の意味で**延喜式内社**、または単に**式内社**（しきないしゃ）、**式社**（しきしゃ）といい、一種の社格となっている。本来「神名帳」とは、古代律令制における神祇官が作成した官社の一覧表を指し、官社帳ともいう。国・郡別に神社が羅列され、官幣・国幣の別、大社・小社の別と座数、幣帛を受ける祭祀の別を明記するのみで、各式内社の祭神名や由緒などの記載はない。延喜式神名帳とは、延喜式の成立当時の神名帳を掲載したものである。延喜式神名帳に記載された神社（式内社）は全国で**2861**社で、そこに鎮座する神の数は**3132**座である。

式内社は、延喜式が成立した10世紀初頭には朝廷から官社として認識されていた神社で、その選定の背景には政治色が強くみえる。当時すでに存在したが延喜式神名帳に記載がない神社を**式外社**（しきげしゃ）という。式外社には、朝廷の勢力範囲外の神社や、独自の勢力を持った神社（熊野那智大社など）、また、神仏習合により仏を祀る寺となった神社、僧侶が管理した神社（石清水八幡宮など）、正式な社殿がなかった神社などが含まれる。式外社だが六国史に記載がある神社を特に**国史現在社**（国史見在社とも）と呼ぶ（広義には式内社も含む）。

式内社の社格

式内社は各種の種別がある。まず官幣社と国幣社の別である。官社とは、毎年2月の祈年祭に神祇官から幣帛を受ける神社のことで、各神社の祝部（ほうりべ、旧仮名遣：はふりべ）が神祇官に集まり幣帛を受け取っていた。その後延暦17年（798年）に、引き続き神祇官から幣帛を受ける官幣社と、国司から幣帛を受ける国幣社とに分けられた。式内社では、官幣社が573社 737座、国幣社が2288社 2395座である。国幣社が設けられたのは、遠方の神社では祝部の上京が困難なためと考えられるが、遠方でも重要な神社は官幣社となっている。

次が大社と小社の別である。この別はその神社の重要度や社勢によったと考えられる。官幣社・国幣社および大社・小社はすべての式内社について定められたので、式内社は以下の4つに分類されることとなる。

- 官幣大社 - 198社 304座
- 国幣大社 - 155社 188座
- 官幣小社 - 375社 433座
- 国幣小社 - 2133社 2207座

官幣大社は畿内に集中しているが、官幣小社は全て畿内に、国幣大社と国幣小社は全て畿外にある。なお、近代社格制度にも同じ名称の社格があるが、式内社の社格とは意味が異なる。また、近代社格制度の社格は延喜式における社格とは無関係で、制定時の重要度や社勢に応じて定められた。

式内社の中には、祈年祭以外の祭にも幣帛を受ける神社があり、社格とともに記された。

- 名神 - 名神祭（特に霊験灼かな名神を祀る臨時祭）が行われる神社。すべて大社、よってこれらを名神大社、略して名神大ともいう。
- 月次 - 月次祭（6月と12月の年2回行われる祭）に幣帛を受ける神社。
- 相嘗 - 相嘗祭（新嘗祭に先立ち新穀を供える祭）が行われる神社。
- 新嘗 - 新嘗祭（毎年11月に行われる1年の収穫を祝う祭）に幣帛を受ける神社。

論社

式内社の後裔が現在のどの神社なのかを比定する研究は古くから行われている。現代において、延喜式に記載された神社と同一もしくはその後裔と推定される神社のことを**論社**（ろんしゃ）・**比定社**（ひていしゃ）などと呼ばれる。

式内社の後裔としてほぼ確実視されている神社でも、確実な証拠はほとんど無く、伝承により後裔の可能性がきわめて高い論社という扱いである。延喜式編纂時以降、社名や祭神・鎮座地などが変更されたり、他の神社に合祀されたり、また、荒廃した後に復興されたりした場合、式内社の後裔と目される神社が複数になることもある。

論社には、他の研究によって後裔社だとみなされることもあるが、その神社自ら式内社だと主張することも多い。

関連資料



出典は列挙するだけでなく、脚注などを用いてどの記述の情報源であるかを明記してください。記事の信頼性向上にご協力をお願いいたします。（2018年6月）

- 式内社調査報告,式内社研究会編,皇學館大学出版部 1977-86

- 式内社の研究,志賀剛,雄山閣 1977-87
- 西牟田崇生『延喜式神名帳の研究』国書刊行会（原著1996年8月8日）、初版。ISBN 9784336038081。

関連項目

- 名神大社
- 別表神社
- 近代社格制度
- 二十二社
- 勅祭社

外部リンク

- 『『延喜式第2』、日本古典全集刊行会、昭和4年。巻九および巻十は37コマ以降。
(<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1273537/37>)』 - 国立国会図書館デジタルコレクション

「<https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=延喜式神名帳&oldid=75172202>」から取得

最終更新 2019年11月29日 (金) 04:21（日時は個人設定で未設定ならばUTC）。

テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は利用規約を参照してください。